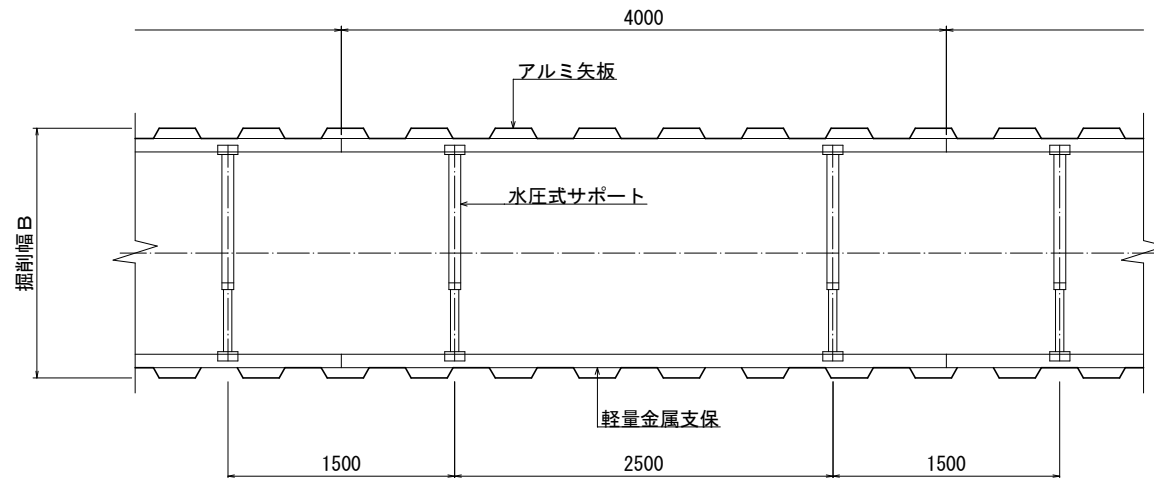
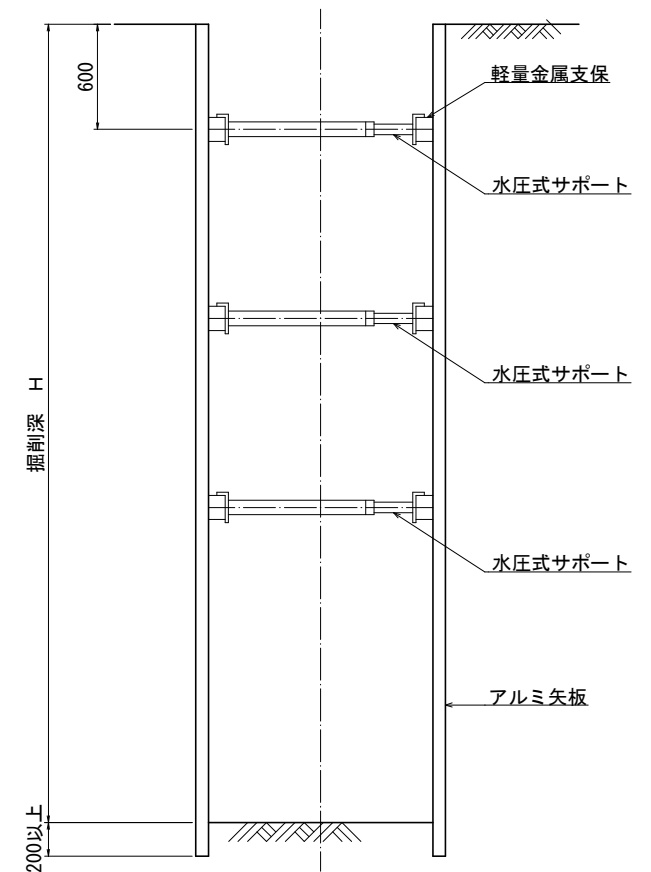


# 土留工標準構造図（軽量金属支保）

平面図



断面図



- 注 1) 掘削深及び土質条件により支保工の段数を決定する。  
 2) 腹起し材料については、アルミ合金製を使用し、最小小口は厚さ110mmとする。なお、断面係数が120cm以下については使用しないこと。  
 3) 切梁材料については、軸力7.5t以上のものを使用すること。  
 4) 切梁は、掘削深を考慮に入れ、切梁間隔を均等に配置すること。